

# 学習支援事業（小学校）

[227]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0101	実施計画
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	学力の定着	担当	教育委員会事務局 学校教育課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	小学生	手段(事務事業の内容、やり方、手順)  ・小学校の授業等で使用する副読本を公費で購入し児童に給付する。 (健康手帳、しぜんともだち、だいすき大愛知、観察と実験、夏休み日誌、冬休み日誌) ・教科書改訂にあわせ、社会科副読本「きょうどあさひ」を作成し、配付する。 (教科書改訂の前年度に作成: R1年度作成し、R2年度配付。4年ごとに改訂) ・総合的な学習の時間の授業を展開していくために必要な、講師謝礼の費用を支援する。 内容: 環境教育、福祉、郷土芸能、国際理解など ・外国語活動や外国語科に英語教育支援員(会計年度任用職員)を派遣し、担任教諭を支援する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	副読本の活用や社会見学を通して、より授業に興味をもつ児童が増えている。児童がより総合的な学力を身につけることができている。児童がより多くの時間、外国人講師から直接外国語教育を受けることができている。	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 購入副読本等種類	種	5	6	6	6	
	B 英会話指導員等派遣日数	日	1,489	1,428	1,460	1,479	
	成果指標	C 副読本等を授業で利用した割合	%	100	100	100	100
		D 英会話指導員等を授業で活用した学校割合	%	100	100	100	100
事業費 計			3,506	4,580	6,395	6,316	
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県			70	70	
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		3,506	4,510	6,325	6,246

## R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 成果指標C及びDについては、100%である。 (原因) 成果指標Cについては、副読本等を利用して、より授業に興味をもつことができている。成果指標Dについては、全小学校の外国語(英語)及び外国語活動の授業で英語教育支援員を活用している。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	プールの今後のあり方について研究します。		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
プールの今後のあり方について他市町の情報を収集し、旭小学校、本地原小学校でプール指導の民間委託を導入することとした。			

# 学習支援事業（中学校）

[228]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0102	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	学力の定着	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象（誰、何に対して事業を行うのか）	中学生	手段（事務事業の内容、やり方、手順）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の授業等で使用する副読本を公費で購入し生徒に給付する。（健康手帳、中学校体育実技、サマーライフ、ウインターライフ）</li> <li>・教科書改訂により社会科副読本「尾張旭」を編集印刷。（教科書改訂の前年度に作成：R2年度作成し、R3年度配付。4年ごとに改訂）</li> <li>・総合的な学習の時間の授業を展開していくために必要な、講師の謝礼費用を支援する。</li> <li>内容：環境教育、福祉実践、キャリア教育など</li> <li>・英語の授業に英語教育支援員（会計年度任用職員）を派遣し、教科担当教諭を支援する。</li> </ul>
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）	副読本の活用により授業に興味を持つ生徒が増えている。生徒がより総合的な学力を身につけることができている。生徒がより多くの時間、外国人講師から直接英会話教育を受けることができている。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 購入副読本等種類	種	3	4	4	4	
	B 英会話指導員等派遣日数	日	240	179	235	232	
	成果指標	C 副読本等を授業で利用した割合	%	100	100	100	100
		D 英会話指導員等を授業で活用した学校割合	%	100	100	100	100
事業費 計			1,687	2,079	1,864	1,806	
財源内訳		ア 国					
		イ 県		310	110	105	
		ウ 地方債					
		エ その他		78			
		オ 一般		1,609	1,769	1,754	1,701

## R04年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 順調 <b>【成果指標の状況】</b> 向上（最高状態維持含む） <b>【成果向上余地】</b> 余地が小さい・なし	（状況） 成果指標C及びDについては、100%である。 （原因） 成果指標Cについては、副読本等を利用し、より授業に興味をもつことができている。成果指標Dについては、全中学校の英語の授業で英語教育支援員を活用している。
--------	--	--

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	プールの今後のあり方について研究します。		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
プールの今後のあり方について、他市町の情報を収集した。			

# 少人数指導授業推進事業

[1076]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0201	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	個に応じたきめ細やかな指導の充実	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	児童・生徒	平成17・18年度の市研究事業として実施した「個に応じた時間の創出支援事業」の結果を受け、児童生徒の基礎学力の定着を目指し、個に応じた指導を実施するため、県の少人数加配教職員だけでなく、市費で教職員を加配し、より推進した少人数指導に取り組む。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
少人数指導を受けることにより、基礎基本が定着している。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 少人数加配の教職員数	人	41	41	41	39
	B					
成果指標	C 少人数加配の指導時間数	時間	28,420	22,726	21,645	20,053
	D					
事業費 計						
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

## R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 成果指標Cについては、2,673時間減少した。 (原因) 県による少人数学級(35人)が小学4年生まで実施され、県の加配指導時間が減少したため。
	【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 特別支援教育支援事業

[255]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0202	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	個に応じたきめ細やかな指導の充実	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	児童生徒 教職員  意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な教育支援を行うことにより、障がいのある児童生徒が個々の教育ニーズに応じた教育を受けることができる。</li> <li>教育支援委員会を開催し、児童生徒の適正な就学及び教育支援を図る。その際に教育支援委員に報酬を支払う。(校長会代表、教頭会代表、教職員、学校保健会長、瀬戸旭医師会代表、保護者代表、学識経験者、その他教育委員会が必要と認める者の計15人で構成。年2回開催。)</li> <li>特別支援学級交流運営委員会の運営にかかる消耗品費、自動車借上料を負担し、特別支援学級の交流事業の実施を支援する。&lt;事業内容：歓迎会、ポッチャ交流会、送る会&gt;</li> <li>瀬戸市立瀬戸特別支援学校へ入学する際の市負担金</li> <li>支援が必要な子どもへの支援・指導補助を行うため、金城学院大学と協定を締結し、学生を各小学校に派遣する。</li> </ul>

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 瀬戸市立瀬戸特別支援学校への市負担金	千円	20,559	24,639	28,369	28,369
	B					
成果指標	C 瀬戸市立瀬戸特別支援学校への入学者数	人	11	11	14	14
	D					
事業費 計			20,806	24,886	29,266	28,924
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	20,806	24,886	29,266

## R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調  【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)  【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況) 特別な支援を必要とする児童生徒が、個々の状況に応じた教育を受けられるように支援している。
--------	---	--

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 学校運営支援員等派遣事業

[230]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0203	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	個に応じたきめ細やかな指導の充実	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内小中学校で授業進行上支援が必要な学級</li> <li>教職員</li> <li>特別な配慮を必要とする児童生徒</li> </ul>	<p>学校内の生活や学習について、特別な配慮を必要とする児童生徒の生活支援や学習支援等及び体験学習、調査活動等の指導補助をするため、学校運営支援員を配置する。</p>
	<p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>特別な配慮を必要とする児童生徒を指導・支援することにより、学級での授業(学習・体験活動)進行を円滑に行うことができている。また、教職員の支援ができている。</p>	<p>肢体不自由児等が安心して学校内で生活及び学習ができるように介助業務を行う学校運営補助員を配置する。</p> <p>○医療的ケアの必要な児童生徒の健康維持・増進及び安全な学習環境を整備するため看護師を派遣する。</p>

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 学校生活支援員等の配置人数	人	21	26	24	28
	B 学校生活支援員等活動時間数	時間	25,432	27,582	25,000	29,772
成果指標	C 支援により授業進行がスムーズになったと思う担任の割合	%	100	100	100	100
	D 学校生活支援員等の配置割合	%	100	100	100	100
事業費 計			6,696	10,980	13,426	11,426
財源内訳		ア 国	1,859	3,627	4,430	3,780
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	4,837	7,353	8,996	7,646

## R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<p>(状況) 成果指標C及びDについては、100%である。</p> <p>(原因) 学校運営支援員、学校運営補助員等の配置及び看護師の派遣により、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を行うとともに、担任がよりよい学級経営をするための助けとなっている。</p>
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	医療的ケアの必要な児童生徒への支援を行います。		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
医療的ケアの必要な児童生徒のいる学校へ看護師を派遣し、必要な支援を行いました。			

# 特色ある学校づくり推進事業

[244]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0301	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	特色ある学校づくりの推進	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市内小中学校	各学校で地域の特性及び創意工夫を活かし、特色ある学校づくりに向けて事業を実施するための支援を行う。 <特色ある学校づくりの例> ・日本伝統音楽の伝承、読書活動、学力向上に向けた取組み、ピオトープでの活動など各校が独自に実施している。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	学校が地域や児童生徒の特徴にあった教育を進めることにより、児童生徒がより自分の個性にあった教育を受けることができている。	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 特色ある学校づくりの実施学校数	校	12	12	12	12
	B 各学校が行う特色ある学校づくりにかかる総事業費	千円	808	1,153	1,327	1,007
成果指標	C 実施校の割合	%	100	100	100	100
	D 特色ある学校づくりに要する費用の支援割合	%	100	100	100	100
事業費 計			808	1,153	1,327	1,007
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	808	1,153	1,327

## R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 成果指標C及びDについては、100%である。 (原因) 全小中学校で、特色ある学校づくりが実施されている。また、各学校が創意工夫し、特色ある教育及び学校づくりができるよう支援した。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 教職員研修・研究推進事業

[245]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0401	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	教職員の資質向上	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	教職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>各職域(校長、教頭、事務職員)が資質向上のために加盟している上部団体等の会費を負担する。</li> <li>教職員の資質向上のための研究を教職員で組織されている尾張旭市現職研修委員会に委託し実施。</li> <li>平成23年度から、各学校に大学教授等を講師とし、学習指導等について実践的な研修を行い、教員の授業力向上を図る。</li> <li>教師用の教科書・指導書及び準拠教材を公費で購入し、給付する。基本は4年毎に改訂(小学校令和2年度、中学校令和3年度)</li> <li>社会見学、遠足、修学旅行及びその他学校行事(下見を含む)で、児童生徒の監督・安全指導等に必要引率者にかかる施設等の入場料を公費で負担する。</li> <li>教育活動を支援していくために、教育研究員(会計年度任用職員3人(H22~)、週4日勤務)が調査・研究、教職員の研修、相談・指導、教育関係情報の収集・管理、ボランティア活動支援事業を行う。</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
教職員が研修会等に参加し、資質向上を図っている。授業に必要な教職員の教科書・指導書を公費で給付し、円滑な教育が実施できている。尾張旭市の教育を推進するため、教育及び研究活動の相談・指導が充実している。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 委託事業数	事業	5	5	5	5
	B 支援事業費	千円	59,104	27,809	10,526	9,674
成果指標	C 教職員研修・研究年間のべ参加者数(委託分)	人	1,437	1,441	1,450	1,263
	D 委託事業の対象となっている大会、研修等に参加した回数	回	188	165	170	174
事業費 計			59,104	27,809	10,526	9,674
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	59,104	27,809	10,526

## R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 成果指標Cについては、178人減少した。成果指標Dについては、9回増加した。 (原因) 成果指標Cについては、研修項目が減少したため。 成果指標Dについては、コロナ対策を講じた研修が定着し、研修回数を増やすことができたため。
	【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が中程度	

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 教職員健康管理事業

[246]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0402	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	04	教職員の資質向上	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	教職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校医(内科医)により健康診断を実施。学校保健安全法により定められている健康診断を実施している。結核(全教職員)、検尿(全教職員)、生活習慣病(35歳以上の教職員)</li> <li>・校長が必要と認める健康面でのリスクのある市内小中学校の教職員を対象として、医師による健康相談面接を実施する。</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員配置数が50人を超える旭中学校・東中学校・西中学校に、労働安全衛生法に基づく産業医を配置する。</li> <li>・教職員を対象にストレスチェックを実施(H28から)</li> </ul>

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 健康診断を受けた人数	人	404	398	400	403	
	B 教職員健康診断受診率	%	100	100	100	100	
成果指標	C						
	D						
事業費 計		千円	5,313	5,148	6,219	5,320	
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他				
			オ 一般	5,313	5,148	6,219	5,320

## R04年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 順調 <b>【成果指標の状況】</b> 未設定 <b>【成果向上余地】</b> 未設定	
--------	---	--

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 教育ネットワーク整備事業

[241]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0501	実施計画
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 学校教育課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	教育委員会事務局 学校 教職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会事務局と各小中学校を結びセキュリティ対策が施されたネットワークを整備し、情報の共有化、文書の交換等を行う。</li> <li>・掲示板、書庫、備品管理、在籍数管理事務の効率化を図るため、校務支援システムを活用する。</li> <li>・タブレットを活用したＩＰ電話等の運用によるネットワークの高度利用を図る。</li> <li>・教職員情報管理、資産管理、セキュリティ対策、共有ファイルサーバー等をトータルで整備し安全性の高いネットワークを保守する。</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
学校運営及び市教委・学校間の連絡を円滑に実施できている。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 市教委・学校間ネットワーク機器の借上料	千円	15,636	17,381	17,381	17,381	
	B 教育ネットワーク関連システム修繕・改修件数	件	0	0	0	0	
	C 教育ネットワーク関連システム不具合件数	件	0	0	0	0	
	D						
成果指標・事業費	事業費 計			34,473	33,040	33,151	33,121
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		34,473	33,040	33,151	33,121

## R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 成果指標Cのシステム不具合件数は前年同様0件であった。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 なし	

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	システムの整備状況を整理します。		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
今後契約更新を迎える校務支援システムと教育ネットワーク機器・サーバの更新時期を合わせることで、トータルコストを抑えることを検討している。			

# 情報化教育環境整備事業（小学校）

[242]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0502	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	児童、教職員  意図(対象をどのような状態にしたいのか)  児童がパソコン等により分かりやすく楽しい授業を受けている。教職員が、コンピュータを活用して、効率的な事務を行うための環境が整備されている。	・タブレットの児童一人一台の整備及び教職員1人1台の整備を完了しており、今後のICT教育の充実のための整備など、タブレットの積極的な活用が可能な環境整備を図る。 ・タブレットや電子黒板等の情報機器の利用について、教職員の意向を反映した上で機器の導入を行うとともに、利用しやすい環境整備を図る。 ・パソコンの利用、整備等については、教職員で構成したICT委員会で検討する。  <整備状況R4.2~> ・PC教室児童用PC 1校40台(リ-スアップ) ・電子黒板 1校2台(リ-スアップ) ・普通教室用プラズマモニタ 1クラス1台 ・職員室教職員用PC 1人1台 ・児童用タブレット 1人1台 ・教員用可動式PC 217台 ・普通教室用無線AP 174台

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 普通教室への大型提示装置備品数	台	173	174	172	180	
	B 普通教室への無線LAN機器整備台数	台	173	174	172	180	
	成果指標	C 普通教室への大型提示装置整備割合(小学校)	%	100	100	100	100
		D 普通教室の無線LAN機器割合(小学校)	%	100	100	100	100
事業費 計		千円	201,900	59,076	61,995	61,228	
財源内訳			ア 国		1,291		1,016
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他	201,900			
		オ 一般		57,785	61,995	60,212	

## R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 非常に順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 なし	(状況) 成果指標C、成果指標Dともに整備率100%を達成している。
--------	---	---------------------------------------

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	教員のICT教育の技術習得を支援します。		
実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	各校にICT支援員を派遣して、各教職員の要望に応じた支援を行った。また、各校の実情に応じて、ICT支援員等により、ICT教育に係るタブレット端末の活用研修を行った。		

# 情報化教育環境整備事業（中学校）

[243]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0503	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	生徒、教職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットの生徒一人一台の整備及び教職員1人1台の整備を完了しており、今後ICT教育の充実のための整備などタブレットの積極的な活用が可能な環境整備を図る。</li> <li>・タブレットや電子黒板等の情報機器の利用について、教職員の意向を反映した上で機器の導入を行うとともに、利用しやすい環境整備を図る。</li> <li>・パソコンの利用、整備等については、教職員で構成したICT委員会で検討する。</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>&lt;整備状況R4.2~&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PC教室生徒用PC 1校40台(リ-スアップ)</li> <li>・電子黒板 1校2台(リ-スアップ)</li> <li>・短焦点プロジェクタ 1教室1台</li> <li>・生徒用タブレット 1人1台</li> <li>・教員用可動式PC 122台</li> <li>・職員室教職員用PC 1人1台</li> <li>・普通教室用プロジェクタ 73台</li> <li>・普通教室用無線AP 74台</li> </ul>

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 普通教室への大型提示装置備品数	台	74	74	73	74	
	B 普通教室への無線LAN機器整備台数	台	74	74	73	74	
	成果指標	C 普通教室への大型提示装置整備割合(中学校)	%	100	100	100	100
		D 普通教室の無線LAN機器割合(中学校)	%	100	100	100	100
事業費 計		千円	83,550	28,555	31,051	30,624	
財源内訳			ア 国		430		338
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他				
			オ 一般	83,550	28,125	31,051	30,286

## R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 なし</p>	<p>(状況)</p> <p>成果指標C、成果指標Dともに整備率100%を達成している。</p>
--------	--	--

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	教員のICT教育の技術習得を支援します。		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

各校にICT支援員を派遣して、各教職員の要望に応じた支援を行った。また、各校の実情に応じて、ICT支援員等により、ICT教育に係るタブレット端末の活用研修を行った。

# 小学校施設保守修繕事業

[268]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0506	実施計画
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 教育政策課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	(1) 学校施設(小学校) (2) 児童	学校施設や設備を維持するために、修繕、法定点検その他必要と思われる保守点検、清掃等を実施して、快適な教育環境を維持する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務内容が学校ごとに異なる場合については、市教委事務局にて一括で維持管理を行う。</li> <li>・施設修繕料の一部など、学校ごとに事情が異なる業務については、学校ごとに配当し管理する。</li> <li>・事業の円滑かつ確実な履行の一助とするため、平成24年度に「施設管理事務の手引き」を策定し、令和3年度に改訂している。</li> </ul>
	安全で快適な教育環境が維持されている。	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 市教委一括管理の保守点検等委託件数	件	27	25	26	31
	B 市教委一括管理の修繕発注件数	件	71	81	80	129
成果指標	C 小学校施設の不具合による教育支障件数	件	0	0	0	0
	D					
事業費 計			57,867	53,156	57,836	76,224
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	57,867	53,156	57,836

## R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 老朽化の進む学校施設において、不具合の発生は避けられないが、公共施設等総合管理計画に基づいた適切な管理の実施により、教育支障件数を0件とすることができた。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 小学校施設整備事業

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0507	実施計画
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 教育政策課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	学校施設(小学校)	<p>施設・設備の新設、改修整備を行う。(下記プロセスで選定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>維持管理上の老朽化等による改修必要性の確認</li> <li>学校からの施設改修等の要望</li> <li>要望事項について市教委による現場確認</li> <li>整備計画</li> <li>小中学校大規模改造等整備方針(校舎及び体育館等)の策定</li> <li>平成23年度に、現在までの大規模改造計画、トイレ改修計画及び平成22年度に財政課を中心に策定された公共施設修繕計画を統合・見直し、学校施設における新たな大規模改造計画を策定した。</li> <li>小中学校施設整備基準の策定</li> <li>平成23年度に策定。</li> <li>平成24年度に、学校施設整備検討委員からの質疑・要望に基づく修正を実施</li> <li>小中学校普通教室空調設備整備</li> <li>平成27年度に導入検討を実施、整備していくとの結論に至る。</li> <li>個別計画(長寿命化計画)の策定</li> <li>校舎等耐久性調査、個別計画(長寿命化計画)の策定</li> <li>指定避難所となる学校の体育館用トイレの洋式化</li> <li>令和元年度に設計業務完了</li> <li>令和2年度に改修工事を実施</li> <li>小学校校舎内、フルトイレの洋式化</li> <li>令和3年度に設計業務完了(3校)</li> <li>令和4年度に改修工事を実施(3校)、設計業務完了(2校)</li> <li>小学校特別教室空調設備整備</li> <li>令和4年度に設計業務完了(9校)</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>老朽化した施設が改修で、機能を維持している。</p> <p>学校要望に基づき、教育施設の向上が図られている。</p>

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 整備事業契約件数	件	11	9	10	14	
	B						
	成果指標	C 小学校施設の不具合による教育支障件数	件	0	0	0	0
		D 工事実施率	%	100	100	100	100
事業費 計			325,573	365,251	19,025	214,665	
財源内訳		ア 国	80,067	89,550		61,633	
		イ 県					
		ウ 地方債	159,600	186,500		83,800	
		エ その他		34,066	1	40	
		オ 一般	85,906	55,135	19,024	69,192	

## R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<p>(状況)</p> <p>老朽化の進み不具合の発生は避けられないが、公共施設等総合管理計画に基づいた適切な管理の実施により、教育支障件数を継続して0件にすることができた。</p> <p>(原因)</p> <p>財政状況が厳しいことや、業務にあたる人員配置が限られることから、危険回避や機能維持など当面の施設改修部分を優先して実施している。財源確保と業務増加に対する人員確保がされると、学習環境の変化に対応する教育施設の質的向上を計画的に実施することができ、成果向上に繋がると考える。</p>
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	<p>旭小学校、瑞鳳小学校、三郷小学校のトイレ改修工事を実施します。</p> <p>白鳳小学校のエレベーター改修工事を実施します。</p>		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
<p>旭小学校、瑞鳳小学校、三郷小学校のトイレ改修工事を実施しました。</p> <p>白鳳小学校のエレベーター改修工事を実施しました。</p>			

# 小学校施設維持運営事業

[270]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0508	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	小学校	・学校施設の維持管理に係る予算を各学校に配当し、各学校の裁量による運営を適正に行う。  各小学校が必要に応じた予算のなかで安全かつ適正に運営されている。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 配当予算額	千円	83,792	83,401	84,625	87,115	
	B						
成果指標	C 小学校施設維持運営費における流用又は増額補正をした件数	件	5	3	0	3	
	D						
事業費 計			92,601	98,753	102,515	98,590	
財源内訳		ア 国		825			
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		1	1	1	1
		オ 一般		92,600	97,927	102,514	98,589

## R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(現状) 成果指標Cの流用又は増額補正した件数はR3実績と同数(3件)となっている。 (原因) 昨年度同様に光熱費の高騰等に伴う増額補正等があったため。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい  【成果向上余地】 余地が中程度	

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 中学校施設保守修繕事業

[271]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0509	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 教育政策課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	(1) 学校施設(中学校) (2) 生徒	学校施設や設備を維持するために、修繕、法定点検その他必要と思われる保守点検、清掃等を実施して、快適な教育環境を維持する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務内容が学校ごとに異なる場合については、市教委事務局にて一括で維持管理を行う。</li> <li>・施設修繕料の一部など、学校ごとに事情が異なる業務については、学校ごとに配当し管理する。</li> <li>・事業の円滑かつ確実な履行の一助とするため、平成24年度に「施設管理事務の手引き」を策定し、令和3年度に改訂している。</li> </ul>
	安全で快適な教育環境が維持されている。	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 市教委一括管理の保守点検等委託件数	件	27	25	23	23
	B 市教委一括管理の修繕発注件数	件	28	43	30	68
成果指標	C 中学校施設の不具合による教育支障件数	件	0	0	0	0
	D					
事業費 計			27,709	23,640	29,079	30,555
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	27,709	23,640	29,079

## R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 老朽化の進む学校施設において、不具合の発生は避けられないが、公共施設等総合管理計画に基づいた適切な管理の実施により、教育支障件数を0件とすることができた。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 中学校施設整備事業

[272]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0510	実施計画
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 教育政策課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	学校施設(中学校)	施設・設備の新設、改修整備を行う。 箇所や施設については下記プロセスで選定する。 維持管理上の老朽化等による改修必要性の確認 学校からの施設改修等の要望 要望事項について市教委による現場確認 整備計画 ・小中学校大規模改造等整備方針(校舎及び体育館等)の策定 平成23年度に、現在までの大規模改造計画、トイレ改修計画及び平成22年度に財政課を中心に策定された公共施設修繕計画を統合・見直し、学校施設における新たな大規模改造計画を策定する。 ・小中学校施設整備基準の策定 平成23年度に策定。 平成24年度に、学校施設整備検討委員からの質疑・要望に基づく修正を行う。 ・小中学校普通教室空調設備整備 平成27年度に導入検討を実施、整備していくとの結論に至る。 ・個別計画(長寿命化計画)の策定 校舎等耐久性調査、個別計画(長寿命化計画)の策定 ・指定避難所となる学校の体育館用トイレの洋式化 令和元年度に設計業務完了 令和2年度に改修工事を実施 ・中学校特別教室空調設備整備 令和3年度に設計業務完了(2校) 令和4年度に改修工事を実施
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	老朽化した施設が改修で、機能を維持している。 学校要望に基づき、教育施設の向上が図られている。

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 整備事業契約件数	件	11	20	5	13	
	B						
	成果指標	C 中学校施設の不具合による教育支障件数	件	0	0	0	0
		D 工事実施率	%	100	100	100	100
事業費 計			694,673	287,881	45,200	220,297	
財源内訳		ア 国	158,711	52,482		39,873	
		イ 県					
		ウ 地方債	302,100	172,300		67,600	
		エ その他		40,014	40,000	28	
		オ 一般	233,862	23,085	5,200	112,796	

## R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 老朽化の進む学校施設において、不具合の発生は避けられないが、公共施設等総合管理計画に基づいた適切な管理の実施により、教育支障件数を継続して0件にすることができた。 (原因) 財政状況が厳しいため、危険回避や機能維持など当面の施設改修部分を優先している。財源投入の理解が得られれば、学習環境の変化に対応する教育施設向上部分を計画的に実施することができ、成果向上に繋がると考える。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	特別教室の空調設備設置を進めます。 西中学校のトイレ改修工事を実施します。 東中学校公共下水道切替工事を実施します。		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	特別教室の空調設備を設置しました。 西中学校のトイレ改修工事を実施しました。 東中学校公共下水道切替工事を実施しました。		

# 中学校施設維持運営事業

[273]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0511	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	中学校	手段(事務事業の内容、やり方、手順)  ・学校施設の維持管理に係る予算を各学校に配当し、各学校の裁量による運営を適正に行つ。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		
	各中学校が必要に応じた予算のなかで安全かつ適正に運営されている。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 配当予算額	千円	46,465	46,444	47,139	49,220	
	B						
成果指標	C 中学校施設維持運営費における流用又は増額補正をした件数	件	5	3	0	3	
	D						
事業費 計			46,890	50,230	56,733	50,749	
財源内訳		ア 国		300			
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		6	6	7	6
		オ 一般		46,884	49,924	56,726	50,743

## R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(現状) 成果指標Cの流用又は増額補正した件数はR3実績と同数(3件)となっている。 (原因) 昨年度同様に光熱費の高騰等に伴う増額補正等があったため。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい  【成果向上余地】 余地が中程度	

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 小学校教材備品整備事業

[277]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0512	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	小学校、児童	各学校からの要望をとりまとめ、予算の範囲内で次の備品を各小学校に整備する。 理科教育等振興備品・・・教材備品のうち理科の学習に活用する備品(国庫補助あり) 毎年3校 R3 白鳳・瑞鳳・旭丘 R4 旭・東栄・城山 R5 渋川・本地原・三郷 R6 全校 図書・・・学校図書館に整備する図書の購入 楽器・・・トランペット鼓隊の楽器の購入 毎年3校 R3 本地原・城山・三郷 R4 渋川・瑞鳳・旭丘 R5 旭・東栄・白鳳 今後の部活動地域移行の状況により判断
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	児童が、学校生活を楽しく、一人一人に対応した教育を受けることができるよう、適切な備品が整備されている。	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 小学校教材備品の購入数(図書を含まず)	個	94	60	100	47
	B 備品の購入数(図書を含まず)	個	94	60	100	47
成果指標	C					
	D					
事業費 計			8,826	6,870	7,140	7,029
財源内訳		ア 国	1,280	592	600	590
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他		1,000		
		オ 一般	7,546	5,278	6,540	6,439

## R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	順調	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
【成果向上余地】	未設定	

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 小学校校用備品整備事業

[278]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0513	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	小学校、児童	各学校からの要望をとりまとめ、予算の範囲内で次の備品を各小学校に整備する。 ・校用備品・・・教職員の利用する書架など ・学級等充実備品・・・児童・教職員用の机・いすなど
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	新JIS学習セットの購入を計画的に実施する。 (あいち森と緑づくり事業交付金事業、H30年度で事業終了。) H23: 渋川小・本地原小 H24: 城山小 H25: 白鳳小・瑞鳳小 H26: 旭丘小・三郷小 H27~: 既導入校における不足分補充 (旭小、東栄小はH16年度に導入済)
	児童が、学校生活を楽しく、一人ひとりに対応した教育を受けることができるよう、適切な備品が整備されている。	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 備品要望対応率(種類や数量ベース)	%	99	100	95	100
	B 備品の購入数	個	489	951	500	326
成果指標	C					
	D					
事業費 計			8,966	15,112	7,959	7,561
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	8,966	15,112	7,959

## R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	順調	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
	【成果向上余地】	
	未設定	

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 中学校教材備品整備事業

[279]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0514	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	中学校、生徒	各学校からの要望をとりまとめ、予算の範囲内で次の備品を各中学校に整備する。 理科教育等振興備品・・・教材備品のうち理科の学習に活用する備品(国庫補助あり) 毎年1校 R4西 R5旭 R6東 図書・・・学校図書館に整備する図書の購入 楽器・・・ブラスバンドの楽器の購入 毎年1校 R4旭 R5東 R6西
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	生徒が、学校生活を楽しく、一人一人に対応した教育を受けることができるよう、適切な備品が整備されている。	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 中学校教材備品の購入数(図書を含まず)	個	18	41	30	23
	B 備品の購入数(図書を含まず)	個	18	41	30	23
成果指標	C					
	D					
事業費 計			4,472	4,134	4,300	4,057
財源内訳		ア 国	374	334	450	310
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他	300	880		
		オ 一般	3,798	2,920	3,850	3,747

## R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	順調	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
	【成果向上余地】	
	未設定	

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 中学校校用備品整備事業

[280]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0515	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	中学校、生徒	各学校からの要望をとりまとめ、予算の範囲内で次の備品を各中学校に整備する。 ・校用備品・・・教職員の利用する書架など ・学級等充実備品・・・児童・教職員用の机・いすなど
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	新JIS学習セットの購入を計画的に実施する。 (あいち森と緑づくり事業交付金事業、H30で事業終了) H23：西中 H24：東中 H25～：既導入校における不足分補充
	生徒が、学校生活を楽しく、一人一人に対応した教育を受けることができるよう、適切な備品が整備されている。	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 備品要望対応率(種類や数量ベース)	%	99	100	95	100
	B 備品の購入数	個	301	584	300	149
成果指標	C					
	D					
事業費 計			4,952	9,270	3,713	2,813
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	4,952	9,270	3,713

## R04年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 順調 <b>【成果指標の状況】</b> 未設定 <b>【成果向上余地】</b> 未設定	
--------	---	--

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 教育委員会運営事業

[379]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	29-0901	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 教育政策課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	教育委員会委員	本市教育委員会は、教育長及び4人の教育委員で組織され、毎月開催する定例会と必要に応じて開催する臨時会において、教育に関する基本方針、施策を審議し決定する。  <根拠> ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づく。  <委員> ・地教行法第3条及び4条の規定に基づき、人格が高潔で、教育、学術及び文化(以下単に「教育」という。)に関し識見を有するものの中から、地方公共団体の長が、議会の同意を得て任命する。 ・委員の任期は、地教行法第5条の規定に基づき、4年とする。  <会議> ・尾張旭市教育委員会会議規則第6条の規定に基づき、教育委員会定例会(原則公開)を月1回開催、また必要に応じ臨時会を開催し、事務局から提出された議案等に対して、審議、議決等を行う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

事務手続きが円滑になり教育委員の役割が十分に果たされ、委員会が円滑に運営されている。

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 教育委員会の年間開催回数	回	12	12	13	12
	B 教育委員会の議案及び協議件数	件	32	30	40	23
成果指標	C		0			
	D		0			
事業費 計			2,385	2,361	2,674	2,516
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	2,385	2,361	2,674

## R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	順調	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
	【成果向上余地】	
	未設定	

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 教育委員会所管施設設計監理事業

[1001]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	29-0905	実施計画
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 教育政策課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	営繕工事等の設計監理を必要とする市教育委員会所管の建築物(学校を除く)	設計業務:各施設担当課から中小規模の営繕工事等にかかる設計・積算業務依頼を受けたものについて、その主旨を確認した後、最善の方法(手法)で設計・積算を行う。 監理業務:各施設担当課から営繕工事等にかかる設計監理業務依頼を受けたものについて、現場状況を把握し、関係法令並びに契約書、設計図書、仕様書等に基づき工事が確実に施行されるよう、工事請負業者に対して指導監督を行う。なお、定められた工事価格以上の工事においては、工事完成後「尾張旭市工事成績評定要領」に基づき各考査項目について工事成績評定業務を行う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
整備することにより、市教育委員会所管の建築物の質を高め、利用しやすい施設となっている。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 設計監理業務を実施した件数	件	14	15	5	9
	B					
成果指標	C 施設担当課から依頼を受けた設計監理業務を計画どおりに実行することができた件数の割合	%	100	100	100	100
	D					
事業費 計			1,390	1,182	4,700	4,235
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	1,390	1,182	4,700

## R04年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 順調 <b>【成果指標の状況】</b> 維持・横ばい <b>【成果向上余地】</b> 余地が中程度	(状況) 施設所管課からの依頼に対し、設計監理業務を計画どおりに実行することができた。
--------	---	--

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	学校体育館への空調設備の設置について検討を進めます。		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
学校体育館への空調設備の設置について検討を実施し、熱中症対策の観点からも空調設備設置が有効であるという結果となった。			

# 教育政策課庶務事務

[957]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	99-0801	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 教育政策課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	教育委員会の庶務事務、教育委員会職員	文書の收受・発送 軽易な庁内文書の処理(回覧・閲覧 綴込) 行政評価の管理 時間外勤務・出張命令書の整理(年12回) 年次休暇・出勤簿などの整理(作成 整理 提出) 課内の消耗品の調達・管理 財務会計事務(帳票作成 決裁 綴込) 予算・決算に関する事務 教育委員会事務局関係書類コピー・印刷・製本 単独公用車の管理 慶弔事務 県公立学校施設整備事業負担金の支出 教育委員会点検・評価に関する事務 「尾張旭の教育」編集に関する事務  令和3年度より学校教育課庶務事務と分割
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A						
	B						
	成果指標	C					
		D					
事業費 計			931	626	2,264	1,964	
財源内訳		ア 国					
		イ 県	9				
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	922	626	2,264	1,964	

## R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	---	--

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	99-0803	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	教育研究室内の所属職員	会計年度任用職員で、次の業務を実施するために学校教育課と事務調整をする。 ・学習指導の調査及び研究に関すること ・教育相談に関すること ・教職員の研修に関すること ・教育関係資料の収集及び提供に関すること ・その他教育に関する調査及び研究に関すること
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
庶務的な事務を正確に、円滑に進めている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A						
	B						
	C						
	D						
事業費 計		千円	143	61	67	64	
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他				
		オ 一般	143	61	67	64	

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	---	--

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 学校教育課庶務事務

[1384]

## 事業の位置づけ

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	99-0811	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 学校教育課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	課の庶務事務	学校教育課の主な庶務事務 文書の收受及び処理 郵便物の発送 時間外勤務・出張命令書の整理 課内の備品・消耗品の調達・管理 予算・決算に関する事務 財務会計の処理 行政評価に関する事務 各種負担金に関する事務
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
課の庶務事務が正確かつ円滑に実施されている。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A					
	B					
	C					
	D					
成果指標	事業費 計			158	252	236
	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県		10	10	10
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		148	242	226

## R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	(状況) (原因)
--------	---	--------------

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

事業の位置づけ

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	99-8000	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 教育政策課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>教育委員会内における重要案件等の事務について、教育委員会事務局の政策立案調整部署である教育政策課が総合調整し、より適正な処理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会各課等からの相談対応</li> <li>・教育委員会各課等からの決裁合議</li> <li>・部長指示による教育委員会各課等の重要事案への関与</li> <li>・教育委員会事務の点検評価</li> <li>・教育振興基本計画の進行管理</li> </ul>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A					
	B					
	成果指標					
	D					
事業費 計		千円				
財源内訳	ア 国					
	イ 県					
	ウ 地方債					
	エ その他					
	オ 一般					

R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 未設定</p> <p>【成果指標の状況】 未設定</p> <p>【成果向上余地】 未設定</p>	(状況) (原因)
--------	---	--------------

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定